

博物館実習生を受け入れました

今年も札幌市立大学、酪農学園大学、北海道大学から合計8人の学生さんを受け入れました。10日間の実習のうち、前半すべての日程をつぎこんで製作した「引き出し展示」はどれも「伝える工夫」にあふれた力作です。小さな子供さんに大好評(展示解説員談)。

実習最終日に「博物館や学芸員のイメージと現場の違い」について感想を書いてもらいました。

博物館は「静かにしなければいけない場所」というイメージを持ちやすいと思いますが、実際にはもっと楽しく、自由に好きなことを学ぶ場所であると感じました。(A.M.)



学芸員という仕事は思っていた以上に多様なことをしなくてはいけない仕事なのだと実感できました。(R.Y.)



昆虫標本作製実習で、自分の専門を生かして他の実習生を教えたK.T.君。(最終日は就活だったので、代わりに写真を掲載。)

講義で学んだ「博物館」と照らし合わせると、それをスタッフ全員で目指し、実現していこうとする姿が見られ、とても良い空間だなあと感じました。(Y.Y.)



展示物は学芸員が自ら採集して展示を作る場合もあること、自分の専門以外にも幅広く知識を持ってお客さんに説明しなくてはならないなど、学芸員の仕事の大変さを知りました。(M.T.)

他の博物館、科学館、水族館などと連携して事業を展開しているということで、思ったより広く地域に開放的で、互いに協力し合っているという印象をもちました。(A.S.)

博物館が学芸員以外にどんな人がいて成り立っているのか、ということも知ることができました。(Y.O.)



学芸員は頭を動かすだけでなく、標本や展示を作製するために体も動かす必要があることを学びました。(T.H.)

科学絵本よみきかせ&学芸員の井戸端サイエンス

時間: いずれも土曜、14時~14時30分 対象: 3歳~大人
会場: 札幌市博物館活動センター展示室内
読み手: 科学絵本よみきかせの会・じゅごん太



◆ 1/18(土) テーマ: しましまな果実

絵本: 「しましまじま」「しましまみつけた」「うみのかくれんぼ」

◆ 2/15(土) テーマ: 世界をあべこべにしたら…?

絵本: 「くつやのねこ」「ものすごくおおきなプリンの上で」「小さいのが大きくて、大きいのが小さかったら」



◆ 3/29(土) テーマ: 札幌のはちみつ

絵本: 「みつのませてね」「みつばちみつひめ」「はちみつ」

★これまでの絵本、井戸端サイエンスの内容はブログを見てね。
ブログ「じゅごん太よみきかせ横丁」
<http://blog.goo.ne.jp/takahashihotate>

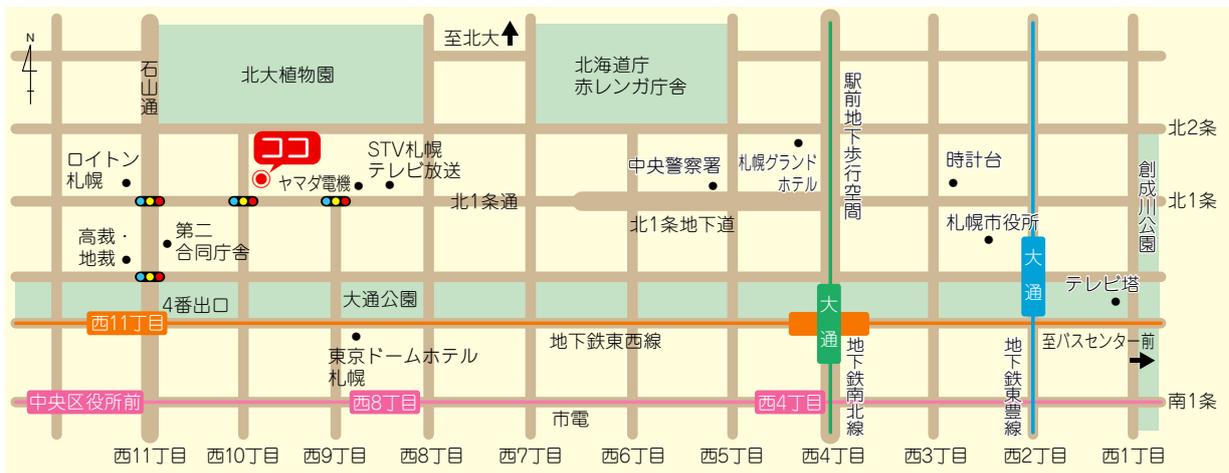


札幌市博物館活動センターご案内



ホームページ<http://www.city.sapporo.jp/museum/>

【開館時間】10時~17時 【入館料】無料 【休館日】日・月曜日、祝日、年末年始(12/29~1/3)
【住所】〒060-0001 札幌市中央区北1条西9丁目 リンケージプラザ5階
【電話】011-200-5002 【FAX】011-200-5003 【E-mail】museum@city.sapporo.jp



■公共交通機関をご利用ください。

- <地下鉄>東西線西11丁目駅4番出口徒歩5分。
- <市電>西8丁目または中央区役所前電停徒歩8分。
- <バス>北1条西7丁目バス停徒歩3分。

■札幌駅前地下歩行空間を大通方面に向かい、北1条地下道へ右折し、最も西側の出口(右手)から地上へ出て、そのままヤマダ電機の方へ直進、徒歩約5分(合計徒歩約15分)。

編集後記

累計来館者数 **89,178**人 (2013年11月末現在)

植物をテーマにした企画展「手稲山*草花繚乱」展の関連講演会には多くの植物ファンにご来場いただきました。しかし、やはりコケについては「初めて」という人も多く、「食べられるコケはある？」などのユニークな質問がただでなく、「どんなものにも無駄なものはないのですね・・・癒されました」という感想も。冬も枯れないコケ。雪の中でモスグリーンを探してみてください。(ま)



さっぽろ市
03-J02-13-902
25-3-246



ミューズレターは、再生紙および植物油インキを使用しています。